

横浜市神奈川区精神障害者生活支援センター 平成21年度 事業報告書

1 一次相談支援機関としての機能強化。

「私たちは、利用者の希望に寄り添い、一人ひとりが自分の力に気づき、その力を活かして地域で生活することができるように支援します」を理念に、地域の重要な相談拠点としての役割を果たすために、利用者に地域の精神保健福祉サービスを効率的に提供するケアマネジメント機能を果たしました。

利用者や家族のニーズに合わせ相談・訪問などの適切な支援を行いました。

(1) 地域の精神保健福祉関係機関によるスタッフ連絡会や自立支援協議会での連携を図りました。

【地域連携の5つの基本方針】

- ① 日常的なかかわりから具体的な連携を図る
- ② 職員同士の信頼関係を築き、顔が見える連携
- ③ 連携によって生まれるメリットを地域で共有
- ④ 「制度の隙間」を埋める新たな支援サービスを生み出す連携
- ⑤ 施設の機能や個性を発揮し協働に活かす

(2) 他の施設との連携による事業拡張を図りました。

【地域支援事業の実施】

平成20年度に引き続き、菅田地域ケアプラザとの共同企画による地域支援事業を実施しました。

- ① 地域住民を対象とした精神保健福祉に関する普及啓発活動
- ② 精神疾患を有する人等を対象とした講座や居場所づくり
- ③ 神奈川区生活支援センターの利用につながっていない当事者、家族の把握・支援

2 退院促進支援事業に伴う地域ネットワークの充実。

退院促進支援事業による効果は、「点」ではなく「面」で支援を行うことを基軸に、複数の関係機関と有機的に連携を図るなどネットワーク強化を進めました。

(1) 退院促進支援事業の推進

精神障害者の地域での自立した生活の定着と継続に向けて重要な役割を果たしました。

長期入院者に予測される「高齢化」「生活能力の低下」「社会適応力の低下」に対して、生活訓練及び評価、地域支援体制の整備を行いました。

(2) ケアマネジメント機能を地域支援に活用

ア 神奈川区関係機関の連絡会などのネットワーク会議をさらに発展させ、退院促進と地域移行に取り組みました。

イ 横浜市総合保健医療センター生活訓練施設との連携により、生活訓練機能を活かした地域移行システムづくりを進めました。

ウ 横浜市の施策に対応し、より積極的に支援に取り組みました。

3 生活レベルへの支援を中心とした従来の機能と相談支援機能の協調の推進。

精神障害者が地域で安心して生活を送るために、横浜市の生活支援センターに求められる次の3点を踏まえ、多角的な視点を持って支援しました。

① 生活の支援（地域生活の維持）

安心した地域生活の継続のために、いつでもサービスを提供できる体制整備

② 生活の相談（地域生活における問題解決）

幅広い相談に応じ、地域の課題の把握に努め、ケアマネジメントの機能を発揮

③ 地域連携・地域交流（地域ネットワーク構築）

関係機関との連携や交流から、新たな支援サービスの創出と協働

(1) 生活支援センター利用者および単身生活や高齢の精神障害者に向けて、啓発的セミナーを開催しました。

ア 各種制度利用についての講座

イ 消費生活講座等

(2) アディクションに関する家族教室や生活教室を開催しました。

家族教室・生活講座を活用したアディクション関連のプログラム

(3) ピア・サポーターの活用に向けて検討を進めました。

家族教室や退院促進支援事業で活用を図りました。

(4) 精神障害者の再発予防の観点から、日中のやすらぎの場の保障は重要課題と捉え、いつでも利用できる居場所を確保しました。

ア 季節感のある館内の環境整備

イ 館内で過ごす利用者との生活場面面接の積極的な実施

ウ 利用者ニーズの把握と改善努力

横浜市神奈川区精神障害者生活支援センター 平成 21 年度 利用状況及び支援内容

(1) 利用者数内訳

(人)

(日)

全 体	内訳			
	本人(男性)	本人(女性)	家族	ボランティア等
14,684	11,064	3,332	9	279

開所日数
353

(2) 相談支援

ア 相談支援

(人)

全体	電話		面接		訪問・同行		面接(非構造)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18,096	6,351	8,209	755	444	71	86	1,620	560
1日平均	41.2		3.4		0.4		6.2	

イ 嘱託医相談

(人)

嘱託医相談(精神科・内科)				
		男性	女性	家族等
26回	42人	21	19	2

(3) 生活支援

(人)

食事サービス			入浴サービス			洗濯サービス		
全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
7,779	5,802	1,977	3,642	3,040	602			
1日平均	22.0		1日平均	10.3		1日平均		

(人)

インターネットサービス		
全体	男性	女性
253	185	68
1日平均	0.7	

(4) 利用登録内訳

利用登録の有無にかかわらずセンターは利用できますが、食事、入浴サービスを利用する場合には登録が必要です。

ア 男女別・年齢別

(人)

(歳)

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	不明	合計
男性	0	29	120	180	126	130	0	585
女性	1	21	74	81	50	31	2	260
合計	1	50	194	261	176	161	2	845

最高	最低	平均
75	21	47
76	19	47
		47

イ 区別内訳

(人)

鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢
97	287	18	70	53	14	32	28	14	16
港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	市外	合計
78	21	5	8	12	6	11	12	63	845

(5) 自主企画事業

スタッフが企画をしているプログラム以外に、利用者が中心となって企画運営を行うサークル活動があります。また、地域住民を対象としたボランティア講座や、家族を対象とした家族教室等も実施しています。

名称		回数	参加人数
プログラム・行事	利用者ミーティング	12	80
	映画会	12	65
	食事会	12	53
	季節行事（お正月、ひなまつり、お花見、花火見物）	7	81
	バスハイク・バスハイク実行委員会	3	37
	納涼会、納涼会会議	3	109
	カラオケアワー	4	30
	就労相談	3	8
	就労講座・SST	24	129
	パソコン講座	5	15
	生活講座	6	64
	アディクション講座	1	30
	開所10周年記念事業	1	63
	ピア活動	3	24
	地域生活支援事業（ふらっとほっと菅田）	53	99
サークル	スポーツサークル	11	66
	コーラスサークル	5	33
	Café de すいーつ	12	125
	カメラの会	9	26
	マージャン教室	1	4
その他	家族講座	1	15
	消防訓練	2	21
	神奈川区生活支援センター運営委員会	2	47
	調理パートミーティング	11	36
合計		203	1,260

(6) 地域交流

名称	回数	人数
福祉まつり、お祭りを楽しむ会実行委員会	3	11
町内会 盆踊り	1	9
わかば会（家族会）例会	3	3
クリスマス会、クリスマス会打ち合わせ	1	115
にじの会お茶会	10	297
洲崎神社お祭り	1	8
新春の集い	1	80
通所施設（わかば工芸、青桐茶房、せせらぎ、ペガサス）運営委員会	12	12
法人（ペガサスの会、ドレミファ会）運営委員会、総会	7	7
にじの会（ボランティア）例会	6	10
喫茶コーナー（せせらぎ・青桐茶房）	100	2376
ほのぼの運営委員会	2	2
赤い羽根共同募金活動	1	1
合計	148	2,931

(7) 地域会議等

名称	回数	人数
神奈川区自立支援協議会	6	10
神奈川区スタッフ連絡会	4	49
退院促進支援協議会	12	35
はーと友事務連絡会	4	4
市精連 横浜精神保健福祉研究所スタッフ会議	4	4
合計	30	102

(8) 退院促進支援事業

平成 18 年 10 月からのモデル事業に引き続き、平成 19 年度から本格実施しています。

平成 21 年度は、支援対象者 12 人のうち、3 人が退院しました。

支援対象者数	病 名	帰 結	退院後の帰来先
12 人	・統合失調症 10 人	・退院 3 人 ・支援継続 8 人	・グループホーム 2 人
	・その他 2 人	・支援終了 1 人	・アパート設定 1 人

- 平成 22 年 3 月 2 日 鶴見西井病院説明会「すてきなまちで暮らすっていいな」
当事者及び病院関係者を対象に、ピアサポーターやボランティアも参加して、事業の啓発活動(体験談発表・資源紹介・交流会)を実施しました。
出席者 病院 当事者 53 人、看護師 7 人、作業療法士 2 人、実習生 4 人 計 66 人
センター 当事者 1 人、職員 5 人、ボランティア 4 人、実習生 1 人 計 11 人
総計 77 人

(9) 地域支援事業

- 菅田地域ケアプラザ フリースペース「ふらっとほっと菅田」 毎週金曜日開催
ア 地域住民を対象とした精神保健福祉に関する普及啓発活動
イ 精神疾患を有する人等を対象とした講座や居場所づくり
ウ 利用につながっていない当事者、家族の把握・支援
を目的とし、生活支援事業を実施しました。
実施回数 53 回 延利用者 99 人

平成21年度 指定管理料精算内訳

施設名 神奈川区生活支援センター

(単位:円)

	当初予算額	執行額	差引増△減
神奈川区生活支援センター運営指定管理料収入	49,351,000	49,351,000	0
神奈川区生活支援センター管理運営事業費	49,351,000	49,093,248	257,752
1 人件費	38,414,000	40,382,139	▲ 1,968,139
職員給料支出	9,358,000	11,318,504	▲ 1,960,504
職員手当支出	7,250,000	7,445,867	▲ 195,867
法定福利費支出	4,302,000	4,223,016	78,984
嘱託賃金支出	13,365,000	12,882,649	482,351
パート賃金支出	3,737,000	2,790,494	946,506
非常勤医師賃支出	252,000	252,000	0
労務厚生費支出	150,000	168,184	▲ 18,184
退職給付引当資産取得支出	0	1,301,425	▲ 1,301,425
2 施設管理費	8,444,000	6,909,361	1,534,639
光熱水費支出	4,444,000	3,518,850	925,150
委託費支出	4,000,000	3,390,511	609,489
3 事業運営費	2,863,000	2,174,918	688,082
会議費支出	0	15,200	▲ 15,200
旅費交通費支出	72,000	125,990	▲ 53,990
広報費支出	0	0	0
通信運搬費支出	316,000	325,763	▲ 9,763
消耗品費支出	750,000	356,091	393,909
消耗備品費支出	324,000	86,938	237,062
修繕費支出	300,000	385,136	▲ 85,136
印刷製本費支出	100,000	226	99,774
賃借料支出	275,000	61,308	213,692
保険料支出	220,000	194,000	26,000
諸謝金支出	120,000	27,300	92,700
租税公課支出	20,000	20,000	0
負担金支出	102,000	74,025	27,975
手数料支出	0	120	▲ 120
訓練材料費支出	264,000	502,821	▲ 238,821
4 入浴サービス等実費徴収額	▲ 370,000	▲ 373,170	3,170
差引(精算額)	0	257,752	▲ 257,752